

授業科目名	権利擁護と成年後見	科目コード	K1604P12
英文名	Protection of Human Rights & Guardianship		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	柴田 稔
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	法と福祉実践、法の世界と実際の世界との乖離がある現実の中で、権利とは何か、擁護とは何かから考え、関連の法・制度を通じて実践の基本である「自己決定支援」について学ぶ。ソーシャルワークの実務経験あり。			
-------	--	--	--	--

キーワード	自律の権利保障	保護の必要性	パートナーリズム	法意識
-------	---------	--------	----------	-----

到達目標	相談援助における権利擁護について、日本国憲法、民法、行政法の理解を踏まえ、認知症や知的障害者等を支援する成年後見制度をはじめとする制度の必要性と、その課題（保護と自律のジレンマ）等について理解できる。			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ソーシャルワークと法のかかわり ・想定される法律問題 社会福祉士の活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	ソーシャルワークと法のかかわり ・憲法、民法、行政法について－ 1	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	ソーシャルワークと法のかかわり ・憲法、民法、行政法について－ 2	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	法の基礎 ・法と規範、法律の基礎知識－ 1	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	法の基礎 ・法と規範、法律の基礎知識－ 2	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	権利擁護の意義と支える仕組み ・権利擁護の意義、虐待防止関係法、障害者差別解消法－ 1	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	権利擁護の意義と支える仕組み ・権利擁護の意義、虐待防止関係法、障害者差別解消法－ 2	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	権利擁護活動と意思決定支援 ・意思決定支援ガイドライン、権利擁護活動と社会の安全－ 1	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	権利擁護活動と意思決定支援 ・意思決定支援ガイドライン、権利擁護活動と社会の安全ー2	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	権利擁護にかかわる組織、団体、専門職 ・専門職の役割、諸機関との関りについて	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	成年後見制度について ・制度の概要、補助、保佐、後見についてー1	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	成年後見制度について ・制度の概要、補助、保佐、後見についてー2	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	成年後見制度について ・任意後見について	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	成年後見制度について ・制度の最近の動向、諸事業について	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	成年後見制度について ・権利擁護活動の実際、日常生活と法意識について	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1) 平常点(20%程度)、レポートまたは期末試験(80%)とし、総合的に評価する。 2) 平常点の内容は、出欠状況・出席カードなどとする。 ディプロマ・ポリシー配分比率： 専門性100%		
使用資料 <テキスト>	「最新社会福祉士養成講座(共通科目)9 権利擁護を支える法制度(2021年2月発	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	新聞、インターネット等で権利擁護、成年後見関連の最新話題を確認しておく。		
授業外質問方法	出席カードへのコメント記入に回答することを主とする。		
オフィス・アワー			